事業者職員向け

児童発達支援自己評価表

公表 令和7年3月31日

事業所名 ぷれぞん星置

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	議題や以告りへき点を始まえた 改善内容又は改善目標
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である	0		戸外活動を取り入れ、体を動 かして活動する機会を設けて	
		か。			いる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0			
環境		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっ				
•		ているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バ				
体制整備	3	リアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされて	0			
		いるか。				
		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている				
	4	か。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0			
	_	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが				
	5	認められる環境になっているか。	0			
	_	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返				
	6	り)に、広く職員が参画しているか。	0			
	_	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会	0			
**	7	を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0			
業務	0	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務				
改善	8	改善につなげているか。	0			
晋	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげ				
	Э	ているか。		0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人	0			
	10	内等で研修を開催する機会が確保されているか。	O			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	0			
		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと				
	12	保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支	0			
		援計画を作成しているか。				
		児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任				
	13	者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下	0			
		で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が	0			
		行われているか。				
		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いた				
	15	フォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むイ	0			
		ンフォーマルなアセスメントを使用する等により確認してい				
適		るか。 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童				
切な		元皇光達文援計画には、元皇光達文援ガイドライラの「元皇 発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支				
な支	10	光達又接の提供 9 ハロ又接」の「本人又接」、「家族又 援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及	_			
支援の	10	援」、「移1」又接」及び「地域又接・地域建務」のほうい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適	0			
の 提		切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい				
供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。				
		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0			
	10	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わ				
	19	せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	0			
		支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる				
	20	支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支	0			
		援を行っているか。	•			
		支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われ				
	21	た支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・ 改善につなげているか。	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0			
BB	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との 会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している	0			
関係機関や保護な	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、 保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えて	0			
		いるか。 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン 推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所				
者との連	26	や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0			
携関係	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		0		該当児童はまだいないが、移行の際には 各機関と連携を取り、進めていく。
機関	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	0			
や保護	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0		公共施設(公園など)の利用時に偶発的に交流する機会がある。	
者との	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の 状況や課題について共通理解を持っているか。	0		電話対応・連絡帳アプリ・ SNS等で情報を共有し合い、 共通理解を図っている。	
連 携	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加で きる研修の機会や情報提供等を行っているか。		0		今後、機会を設けて行っていきたい。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか。	0			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	0			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	0			
保	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	0			
k護者への説	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		0		保護者会・親子レクなどの開催を検討していく。
明責任等	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0		HP上のブログ等で情報発信している。また連絡帳アプリやSNSの利用により、情報発信を行っている。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	0			
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか。	0			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業 運営を図っているか。	0			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0			
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認しているか。	0			
非	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0			

	常時等の		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
対応		47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0		
		48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策に ついて検討をしているか。	0		
		49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な 対応をしているか。	0		
			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			

保護者等向け

児童発達支援評価表

公表:令和7年3月31日

保護者等数(児童数)

2 人

事業所名 ぷれぞん星置

回収数 1 人 割合 50.0 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている	1	0	0	0		
		と思いますか。						
環	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
境		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環						
体		境(※1)になっていると思いますか。また、事業						
制	3	所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化	1	0	0	0		
整		や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
備		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ						
	4	ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ	1	0	0	0		
		せた空間となっていると思いますか。			Ĭ	Ĭ		
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応	1	0	0	0		
	J	じた専門性のある支援が受けられていると思います	•	U	Ŭ			
		事業所が公表している支援プログラム(※2)は、				_		
	6	事業所の提供する支援内容と合っていると思います	1	0	0	0		
		か。 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニー						
		ズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援	1					
適	7	計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると		0	0	0		
切		思いますか。						
な支		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン						
援		の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支						
の	8	援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内	1	0	0	0		
提		容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定さ			Ĭ	Ĭ		
供		れ、その上で、具体的な支援内容が設定されている と思いますか。						
	9	いますか。	1	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されない	1	0	0	0		
	10	よう工夫されていると思いますか。		, v	U			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その	0	1	0	0		
		他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ						
	12	ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました。 は、 は、	1	0	0	0		
	12	か。				Ĭ		
	- 10	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説						
	13	明がなされましたか。	ı	0	0	0		
		事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペ						
	14	アレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加	0	1	0	0		
		できる研修会や情報提供の機会等が行われています 	·	· '		Ĭ		
		か。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども						
	15	の健康や発達の状況について共通理解ができている	1	0	0	0		
	10	と思いますか。	'			Ĭ		
	4.0	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行	,					
保	16	われていますか。	1	0	0	0		
護	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思い	1	0	0	0		
者	''	ますか。	'	L		J		

_		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等によ						
) の		り、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家						
_		 族への支援がされているか。また、きょうだい向け						
説	18	のイベントの開催等により、きょうだい同士の交流	1	0	0	0		
明		の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がさ						
等		れていますか。						
		こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の						
		体制が整備されているとともに、こどもや保護者に						
	10	対してそのような場があることについて周知・説明	4	٥	٥	^		
	19		1	0	0	0		
		され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応						
		されていますか。 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための						
	20		1	0	0	0		
	_	配慮がなされていると思いますか。 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要						
	21	や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己	1	0	0	0	0	
		評価の結果をこどもや保護者に対して発信されてい						
		ますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いま	1	0	0	0		
		すか。						
		事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マ						
		ニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル		_		•		
非	23	等が策定され、保護者に周知・説明されています	1	0	0	0		
常		か。また、発生を想定した訓練が実施されています						
時	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避	1	0	0	0		
等	_	難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
の		事業所より、こどもの安全を確保するための計画に						
対	25	ついて周知される等、安全の確保が十分に行われた	1	0	0	0		
応		上で支援が行われていると思いますか。						
		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所						
	26	から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等につ	1	0	0	0		
		いて説明がされていると思いますか。						
	27	 こどもは安心感をもって通所していますか 。	1	0	0	0		
満	Ĺ		'					
足	28	 こどもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
度	20	ここのは近月に大いりにしているチル。	'			U		
150	20	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		
	29	尹木/ハツ又汲に ――― しいいちゃん。	'					

事業者職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表 令和7年3月31日

事業所名

ぷれぞん星置

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切で	0			
		あるか。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は	0			
環		適切であるか。				
境		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境				
体	3	になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特	\cap			
制		性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配				
整備		慮が適切になされているか。 ないでは、注意である。				
p113	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になって	0			
		いるか。また、こども達の活動に合わせた空間となっ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用する				
	5	ことが認められる環境になっているか。	0			
		ことが認められる条件になっているか。				
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と	0			
	ľ	振り返り)に、広く職員が参画しているか。				
		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握す				
Alle	7	る機会を設けており、その内容を業務改善につなげて	0			
業務		いるか。				
改		職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容				
善	8	を業務改善につなげているか。	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に				
	9	つなげているか。		0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会	0			
	10	や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0			
		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こ				
	12	どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上	0			
		で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。				
		放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発				
	10	達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる				
	13	職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮し	0			
		た検討が行われているか。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画	0			
	14	に沿った支援が行われているか。)			
		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用				
	15	いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察な	0			
	13	ども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等				
		により確認しているか。				
		放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービ				
適		スガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべ				
切な	16	き支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支	0			
支		援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内				
援の		容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切				
提		に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定され				
供	—	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0			

					1		
		10	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組	_			
		19	み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援 が行われているか。	0			
	ŀ		支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行				
		20	われる支援の内容や役割分担について確認し、チーム	0			
			で連携して支援を行っているか。)			
	ı		支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日				
		21	行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有し	0			
			ているか。				
	ı	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の				
		22	検証・改善につなげているか。	0			
	ſ		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス				
		23	計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ	0			
	L		ているか。				
		24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活	0			
	L		動」を複数組み合わせて支援を行っているか。)			
			こどもが自己選択できるような支援の工夫がされてい				
		25	る等、自己決定をする力を育てるための支援を行って	0			
	4		いるか。				
			障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機	•			
		26	関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が	0			
	ŀ		参画しているか。 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害				
			福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う				
関 係	,		価値、保育、教育等の関係機関と建物して文版を1179 体制を整えているか。	0			
機	ŧ		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こ				
関サ		28	どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対	0			
保	ŧ		応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。)			
護者			就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども				
ح ص	:	29	園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理	0			
連	Ī		解に努めているか。				
携	∄ [学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉				ミナル 旧 辛 ユ ナ よい よい よく な な へ の か レ ユ
係			サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内		0		該当児童はまだいないが、移行の際には 各機関と連携を取り、進めていく。
機			容等の情報を提供する等しているか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等				
*	·	21	に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を	0			
保 護	`	01	設けているか。)			
者	íŀ		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこ			公共施設(公園など)の利用時	
ح ص		32	どもと活動する機会があるか。	0		に偶発的に交流する機会があ る。	
連携		33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0			
17:		34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの	(
	L	J4	発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0			
			家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家				
		35	族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家		0		電話対応・連絡帳アプリ・SNS等で情報 を共有し合い、共通理解を図っている。
			族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行ってい				を共有し日が、 六週年解を囚 りている。
	+		るか。				
		36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁	0			
			寧な説明を行っているか。				
			放課後等デイサービス提供を作成する際には、こども				
		37	や保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考	0			
			慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する				
	-		機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容				
保	,	38	の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画	0			
護	٠.		の同意を得ているか。				
• =							

有へ	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応	0			
の	39	じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	O			
説明		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催				
責	40	する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等				保護者会・親子レクなどの開催を検討し
任等	40	の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流す		0		ていく。
寸		る機械を設ける等の支援をしているか。				
		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整				
	41	備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が	0			
		あった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用			IP上のブログ等で情報発	
		 することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の	0		信している。また連絡帳 アプリやSNSの利用によ	
		情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			り、情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	0		৩	
	10	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達				
	44	のための配慮をしているか。	0			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれ				
	45	た事業運営を図っているか。	0			
		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マ				
		ニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や				
	46	家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実	0			
		施しているか。				
		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害	_			
	47	の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練	0			
		を行っているか。				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの	0			
		状況を確認しているか。				
非	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書	0			
常時		に基づく対応がされているか。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、そ				
等	E0.	女主計画でTFMし、女主自住に必要な研修で訓練、での他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中				
め対	30	で支援が行われているか。	0			
応		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られ				
	51	るよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等	0			
		へ周知しているか。				
		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた				
	52	方策について検討をしているか。	0			
	F^	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、				
	53	適切な対応をしているか。	0			
		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについ				
	_,	て、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に				
	54	説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	0			
		記載しているか。				
					•	

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

公表:令和7年3月31日

保護者等数(児童数) 23 人

事業所名 ぷれぞん星置

回収数 14 人 割合 60.9 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1	1	0	体を動かすのには、もう少し 広くてもいいのかと思いま す。	身体を動かす活動などは、戸外活動を 多く取り入れて行っていきたいと思い ます。
環境	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	0	0	送迎時の対応スタッフの人数 を増やしてほしい。	お子さまの安全に配慮し、スタッフの 人数を増やして対応していきたいと思 います。
・体制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	0	1つのフロアですべてが行わ れている印象。	視覚的にわかりやすい空間づくりを心掛けています。スペースが足りないと判断される場合には、戸外や外部施設の利用等を検討します。
н	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2	0	0		
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応 じた専門性のある支援が受けられていると思います か。	9	5	0	0	援は受けられていると思う。	STやOTなどの専門職は現在配置がありませんが、保育士・児童指導員による 小集団での療育を通じ、コミュニケーションやソーシャルスキルに焦点を当 てたプログラムを行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、 事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	3		
適切な	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		
支援の提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われて いると思いますか。	13	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	3	0	0	情緒面での活動プログラムが メインなイメージがある	お子さま同士の関りや、個人での 問題解決場面において支援を行っ ています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の こどもと活動する機会がありますか。	3	3	2	6		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援 内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	4	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の健康や発達の状況について共通理解ができている と思いますか。	14	0	0	0		
仔	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0		

\(\frac{1}{2}\)	4-	事業所の職員から共感的に支援をされていると思い		^	_	•	
護	17	ますか。	14	0	0	0	
者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	5	3	
		こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	0	0	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための 配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	1	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いま すか。	14	0	0	0	
非常		事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	0	2	
時 等	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避 難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	2	
の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画に ついて周知される等、安全の確保が十分に行われた 上で支援が行われていると思いますか。	10	2	0	2	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	0	
満	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	
足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	0	
12	29	事業所の支援に満足していますか。	10	4	0	0	